



平成28年度県民提案事業 高齢者向けリコール製品回収事業

リコールキャンペーン in 南房総市 第一弾 和田地区

2016年12月14日、16日の2日間、南房総市でのリコールキャンペーンの第一弾が、和田地区において行われました。

狭い山間部の道を両日南房総市の職員の方が巧みに車を運転し、アンケート先へ1軒1軒案内してくださいました。諸事万端準備を整えてくださった百姓たっちゃんこと民生児童委員・自然の宿くすの木理事・南三原小学校評議委員（元南房総市商工観光部長）の鎌田様、楠木会の会長宮内様、大変お世話になりました。快くアンケートにご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございます。

以下、井原先生と相談員の会会長小島さんから報告です。

12月14日

和田地区上区の老人会の宮内会長と鎌田さん、南房総市からも真田さんと岡本さんが参加くださり、合計8名で4人乗りの軽ワゴン車2台に分乗して、2班に分かれて10戸ずつ訪問しました。

和田地区は、70代80代でも現役で農作業などに従事している方が多いようで、平日だから家にいるといった訳ではないようですが、上区老人会の方が、事前に各戸を訪問し、「この日の午前に行くから午前中は絶対在宅してね」といった声かけを全戸にやっていただき、完璧な手配りをして下さっており、非常にスムーズに進みました。各班でどの家を回るかだけでなく、効率的に回るための道順や、それに添った訪問順序まで考えて下さっており、我々は車に乗っているだけで、どんどん次の目的地につくは、ついには対象世帯の方はきちんと在宅してくれているは、場合によっては座布団やお茶を用意して下さるわで、本当にスムーズです。リコール製品については、今日の所は見つからなかったのですが、結構色々なお話も聞けて、実りがあった一日だったと思います。感想としては、和田上区は、密接な人間関係が残っており、見知らぬ人が地区を歩いていたら「誰？ どうしたの？」と話題になったり、近隣の異変にすぐに気づけるようなところで、まさに「地域で防衛する」という土壌が残っている気がしました。

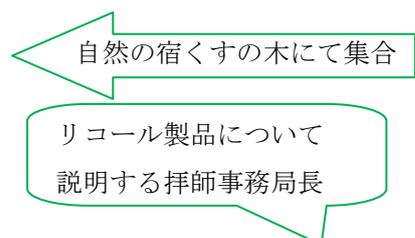
また、高齢でも現役でバリバリと働いている方が多く、気力もあるので、セールス電話等もかかってくるみたいですが、すべて「断って切る」ということができているようでした。

そして、足腰がしっかりしている方が非常に多く、杖や手押し車等は、70代や80代の方でも、「あ～、それは私は『まだ』要らないわね～」という具合だったのがビックリしました。（井原）

12月16日

朝早くからロングドライブをして参加しました。しっかり準備されており、アンケート対象者は1人以上は在宅でスムーズにすみましたが、井原先生が言うておられたように、杖や、特に押し車は全くありませんでした。対象者に応じた商品選択が必要だったと痛感しました。（小島）

房日新聞には「リコール制度を周知」「南房総で三者が連携 和田の40世帯でキャンペーン」の見出しで、当日の様子が紹介されました。



自然の宿くすの木にて集合

リコール製品について
説明する拝師事務局長

リコールキャンペーン 第二弾は、2月19日（日）南房総市丸山地区で行います。参加者募集中です。

